

議会だより

6月定例会 No.20
平成22年8月1日

発行 石川県志賀町議会

ししか

平成22年度一般会計補正予算

各小学校にAEDを整備 ページ 2

故辻 武美議員をしのぶ 5

子宮頸がんワクチンに公費負担を (一般質問) 6

ワインの町に学ぶまちづくり 8

(常任委員会合同視察研修報告)



頑張って練習したよ (児童館)

平成22年度一般会計補正予算

2億2460万円増額

民間提案型雇用創出事業 小学校・老人福祉施設13箇所にAED 防災拠点施設事業債繰上償還金

6月定例会は、6月3日から15日まで13日間の会期で開かれました。町長から提案された平成22年度一般会計補正予算のほか、21年度各会計補正予算、条例の改正の専決処分の承認、人権擁護委員の推薦などを審議し、それぞれ全会一致で可決しました。

22年度の一般会計補正予算では、歳入で防災拠点施設の事業完了に伴う北陸電力からの事業費の一部負担、民間提案型雇用創出事業補助金、電源立地対策交付金。歳出で町内各小学校、老人福祉施設の計13箇所のでAEDを整備するための購入費、民間提案型雇用創出事業委託料、防災拠点施設事業債繰上償還金を追

自動体外式除細動器（AED）は、心臓の心室細動の際に電気ショックを与え（電的除細動）、心臓の動きを戻すことを試みる医療機器。



（全員賛成）

民間提案型雇用創出事業 民間のアイデアを活用しながら 更なる雇用機会の創出を図る

厳しい雇用情勢の中、平成22年度に、成長が期待される分野を中心に新たな雇用機会を集中的に創出するとする国の方針を踏まえ、民間のアイデアを活用しながら、更なる雇用機会の創出を図ります。

厳しい雇用情勢の中、平成22年度に、成長が期待される分野を中心に新たな雇用機会を集中的に創出するとする国の方針を踏まえ、民間のアイデアを活用しながら、更なる雇用機会の創出を図ります。

に占める新規雇用者（失業者）の件数割合は委託費の半分以上とし、事業費は1事業最大1千万円。町は2千万円の枠内で事業を予定しています。（応募の期間は終了しました）

町が設定するテーマに沿って応募者自らが企画し、学卒未就職者を含め、失業者を新たに雇入れて実施する事業です。

提案を募集するテーマは、「地上波デジタル放送移行へのサポート事業」（地域社会雇用）、「地域資源の見直しによる既存観光施設及び新たな観光ポイント、観光ルート等の企画事業」（観光）の2テーマです。

事業は8月上旬から来年3月31日の期間で、事業費

委員会委員の変更

辻議員（逝去に伴う委員の補充、委員長の互選）

議会運営委員の補充

委員 富澤 軒康 議員

■原子力発電所対策特別委員会正副委員長の互選

委員長 小田 芳治 議員
副委員長 稲村 幸雄 議員



町立富来病院の待合室

診療業務の効率化を図る

町立富来病院では、平成18年度に検査や薬剤・注射処方、入院予約など二部でオーダーリングシステムを導入しています。

今回は、国保特別調整交付金を財源に、リハビリ、レントゲンおよび入院時の看護業務などを追加。フルオーダー化にして診療業務の効率化を図ります。

(全員賛成)

富来病院の
オーダーリングシステムを
フルオーダー化
4772万円追加

オーダーリングシステムとは、「検査・処方などに係る情報伝達システム」のこと。医療現場の一部業務を電子化し、病院業務の省力化と、サービス提供の短縮化を目指すもの。従来医師が紙に書いていたオーダー（検査内容や処方箋）をコンピューターに入力すると、関連部門の業務も連動し、それ以降の診療から医事会計にかかわる処理・業務が迅速化する。

21年度各会計別補正後の総額

一般会計	154億5,956万円	
国保	27億5,708万円	
老人保健	1,098万円	
後期高齢者医療	2億9,211万円	
農業集落配水	8億2,569万円	
公共下水道	13億8,849万円	
地域し尿	4,115万円	
介護保険	24億6,966万円	
ケーブルテレビ	2億6,120万円	
町立診療所	1億6,490万円	
簡易水道	1,700万円	
水道	収益的収支	6億2,904万円
	資本的収支	7億3,551万円
病院	収益的収支	12億1,099万円
	資本的収支	1億7,178万円

(金額は1万円未満切り捨て)

平成21年度一般会計 補正予算

6,970万円追加

減債基金・特別財政基金を積み立て

21年度各会計補正予算は、事業費の確定および精算等に伴うものであり、いずれも3月31日専決処分したものです。

一般会計では、地方交付税等の確定による増額分を減債基金、特別財政基金の積み立てに充て、歳入歳出それぞれ6,970万円追加し、総額154億5,956万円となりました。

(全員賛成)



大野 堯 さん
ぎょう
西海風無・71歳



三沖 博 さん
ひしたけ
日下田・70歳

任期満了となる人権擁護委員に三沖博さん、大野堯さんの推薦が諮問され、適任として答申しました。

(全員賛成)

人権擁護委員

総務常任委員会

委員長	富澤 軒康
副委員長	林 一夫
委員	戸坂忠寸計
〃	小田 芳治
〃	久木 拓栄

法人町民税は減額の可能性 現在の企業誘致の取組みは

質疑 法人町民税は当初より減額の可能性がある。現在の企業誘致の取り組みは。新たな企業誘致はあるのか。

答弁 いくつかの企業にあたってはいる。積極的にセールスしているところ

もあるが、景気が好調になれば進出してもいいという企業もある。

質疑 これ以上、企業が撤退しない、倒産というものを生み出さないような、新たな政策をお願いしたい。

答弁 既存企業に対しては、町としてできることは十分お手伝いしたい。

質疑 民間提案型雇用創出事業とは、どのようなものか。

答弁 厳しい雇用情勢の中、民間のアイデアを活用しながら、更なる雇用の創出を図る事業である。現在、2つの分野に絞っており、1つめは、地域資源の見直しによる既存観光施設及び新たな観光ポイント、観光ルート等の企画。2つめは、地上波デジタル放送移行へのサポート事業である。

教育民生常任委員会

委員長	南 政夫
副委員長	寺岡真貴子
委員	越後 敏明
〃	田中 正文
〃	櫻井 俊一
〃	木村 正男

自転車通学の生徒に対して 自転車購入補助ができないか

質疑 スクールバスの運行経費の減額の理由は。

答弁 予算上は1カ月22日の12カ月積算で264日を見込んだが、実績では235日、月平均20日程度となり減額した。

質疑 通学費の補助も減額補正。バス通学者の定期代は100%補助である。自転車通学の生徒に対して、自転車の購入費を補助できないか。

答弁 何らかの補助は考えてもいいかと思う。

はつきりとは言えない。皆さんと相談しないと行けない。

質疑 女性特有の特定検診の受診率はどのようなものか。

答弁 若い女性の婦人ガオン検診については、昨年度、20歳から5歳刻みで40歳までの女性に対して、クーポンを交付した。受診率を高める動機付けを行ったが22%であった。施設検診と集団検診で前年より少し上がった。



バスや自転車で通学する生徒達。

産業建設常任委員会

委員長	下池外巳造
副委員長	須磨 隆正
委員	橘 照茂
〃	松浦 恒義
〃	山本 辰榮
〃	稲村 幸雄

民間提案型雇用創出事業で 成果品を出せるかは疑問

質疑 民間提案型雇用創出事業は半年間の臨時雇用が目的だろうが、成果品を出せるかは疑問。

答弁 地元の方をハローワークで雇用し実態調査や撮影など情報収集をして、事業費の2分の1以上は人件費で執行する。

成果品は必要であり、今後の観光振興、情報発信の素材に提供、活用していく。

質疑 住宅・建築物耐震事業補助金に対して申請件数は。

答弁 別荘地で1件の申請があった。

質疑 周知はどうしているのか。

答弁 町ホームページと広報で周知している。

質疑 一般の人が補助申請をすることはむずかしい。業者から申請があったのか。

答弁 大工から申請があつて補助をしている。その他、乳児園でも耐震診断で補助をした。



新幹線の開業、能登有料道路の無料化など、今後、相当数の入れ込みが期待できる。民間提案型雇用創出事業は最大限効果が発揮できて、将来に繋げられるよう頑張ってもらいたい。(写真は旧福浦灯台)

故辻 武美議員をしのぶ



辻 武美議員が5月5日、享年68歳で、ご逝去されました。

辻議員は平成3年、旧志賀町議会議員として初当選以来、新町合併後の今日まで18年7カ月の永きにわたり、旧志賀町議会議長、町監査委員を始め、総務常任委員長、議会運営委員長、生活環境・原子力発電所対策の各特別委員長のほか、羽

昨都市広域圏事務組合議会議員、石川北部RDF議員、石川県町村監査委員協議会理事などの要職を務められました。議会人としての活躍は町議会だけにとどまらず、羽咋郡市及び石川県の町村議会発展にも尽くされました。

町の産業の振興に積極的に取り組み、旧志賀町、富来町との合併協議が始まりました。その合併の推進役として、幾多の難問を解決され、その手腕、指導力をもって、町の発展に尽くされ、そのご功績は誠に顕著なものがありました。

志賀町議会はここに、故辻議員のご逝去を悼み、つつしんでお悔やみ申し上げます。

子宮頸がんのワクチン 全額公費負担で集団接種を

早期の実施、積極的に取り組みたい 町長



寺岡 真貴子 議員

寺岡 唯一予防できるがんである子宮頸がんのワクチンに助成すべきだ。

費用が約4万から5万円と高額であるので、全額公費負担し、特定年齢への集団接種を望む。

町長 ワクチン接種は将来における医療費の軽減や少子化の抑制に繋がる。公費負担については対象年齢や接種方法等の設定、それに伴う関係団体への周知、協力依頼等を進め、早期に実施できるような積極的に取り組みたい。

寺岡 同時にがん検診受診への啓蒙啓発を一層進めるべきだ。

町長 従来の検診と併せ、昨年度から女性特有のがん検診推進事業を実施し、子宮頸がん、乳がん検診

は、対象年齢者に全額補助を実施した。今後もより受診しやすい環境づくりにも取り組み、検診効果を上げていきたい。



ヒブワクチン、肺炎球菌などの任意ワクチンは高額であり、なかなか接種が進まないが、一部費用負担をする自治体が増えてきている。(写真は志賀クリニック)

乳幼児の任意ワクチン接種 助成で保護者の負担軽減を 制度導入に向け検討したい 町長

寺岡 ヒブワクチン、肺炎球菌やおたふく、水痘等の任意ワクチンも、乳幼児のいる世帯で、ワクチンへの理解を深め、保護者の負担軽減するため助成すべきだ。

町長 これらワクチンは重大な疾患を予防する上で非常に効果が高いものだと認識している。一部補助について、財政負担の効果を見極めながら、制度の導入に向け検討したい。

寺岡 23年度から高齢者へのインフルエンザワクチン接種への自己負担導入も検討される中、高齢者への肺炎球菌ワクチンに対する助成も検討すべきだ。

町長 他ワクチンと同様高額ではあるが、1回接種で5年間の効果があると聞くので、検討していきたい。

寺岡 季節性・新型インフルエンザワクチンに関しては、昨年同様の対応になるのか。
町長 新型については、予防接種法の改正も含め国の判断を待っている状況。季節型は、従来通りの方法で実施をする予定だが、集中改革プランに基づき、受益者負担の見直しを進めてゆく。



下池 外巳造 議員

ボランティアの把握と 災害時における対応は

活動意義を啓発し参加を促したい 町長

下池 災害時のボランティアの把握はしているのか。

町長 現在、町には29団体が登録されている。このうち、28団体は施設等を訪問しているボランティア活動であり、災害時における団体は志賀町赤字奉仕団がある。

今後は、登録団体ばかりではなく、町民の方で活動に関心がある方に対しても、社会福祉協議会を通じ、新たな募集を図り、災害時における活動

意義を啓発し、参加を促したい。

下池 ボランティア従事者が少ないのなら、各講習を受けていただき、日頃より災害時のために備えるべきではないか。

町長 災害時、緊急時には、たくさんボランティア従事者が必要となってくるので、今後、地域における新たなボランティア募集や研修会を実施したい。

等の計画を要請し、地域の自主活動組織等にも参

加を呼びかけ、受講機会の拡充を図りたい。

下池 各種団体、高齢者を家族に持つ方々に参加をお願いし、AEDの使い方や蘇生の仕方などの講習を受ける体制を作っていますか。

町長 今後は、各種団体の事業の中に、救命講習



郡議長会主催の救命講習会でAEDの使い方を学ぶ議員。

宮崎県発生の口蹄疫に対する感想は

畜産農家には十分注意していただき町としてできる支援を 町長

下池 現在、宮崎県に発生している口蹄疫に対する感想は。

町長 本町畜産農家の皆さんにも十分注意をしていただき、国・県の指導のもと、町としてできる支援をしていきたい。

下池 畜産農家への消毒剤の無料配布を検討願いたい。

町長 町内畜産農家への消毒剤の無料配布は、現在、全農石川と県が配布すると聞いている。今後の情勢をみて、町の支援を見極めたい。

下池 志賀町も能登半島地震では、各地から義援金や物資をいただいた。宮崎県の被害農家に対し、どのような援助を考えているのか。

町長 今回の口蹄疫による被害は、豪雨災害や地震災害とは違う。義援金、物資等の援助は、今のところ考えていない。今後の状況を見ながら、対応をしていきたい。

ワインの町に学ぶまちづくり

北海道池田町

池田町の地域・産業振興、観光施策の取り組みについて、また、平成21年度から公立保育園の一園化・民営化を実施しており、その状況について

研修してきた。

池田町は北海道十勝管内の面積371K㎡、人口約8千人の町である。町営でブドウ栽培・ワイン醸造を行っており、ワ

インの町として広く知られる。

昭和30年に赤字再建団体となった池田町は、新村建設計画にぶどう栽培を取り入れ、土地の有

効利用による農業振興と自主財源の確保をめざして地域振興を図った。

土地利用を起点として、ワインから肉牛生産、肉の加工、レストラン、野菜の加工など各事業を有機的に結びつけ、地域における食文化の形成を目標とした。

ワイン城は新たな観光地となり、町内の雇用の拡大と経済の進展をもたらし、その後のまちづくりに影響した。

また、保育園一園化・民営化については、町内社会福祉法人に建設補助方式により、21年度実施に向け作業を進めてきた。研修では、再編の進め方、住民への説明、職員の身分、民営後の組織の再編などを学んだ。

当議会では、6月21日から23日の期間に各常任委員会の視察研修を合同で行いましたので、その内容を報告します。



池田町のまちづくりについて説明する勝井町長。

燃やさない、埋めない、リサイクル率99%の 取り組み

富良野広域連合環境衛生センター

当日は、富良野市市民環境課と広域連合環境衛生センターの担当から詳細に説明いただいた。

富良野広域連合環境衛生センターは、富良野市を含む5市町村（富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村）で共同設立した。

ごみは14種区分、24分類で分別し、家庭から出る一般ゴミの資源化率が93%で、焼却率が5・8%である。「燃やさない、埋めない、リサイクル99%」の基本理念により、現在では一般廃棄物処理施設、いわゆる焼却炉を廃止している。

30%以上を占める生ごみ（浄化槽汚泥をふくむ）を分別収集し堆肥化して、農協を窓口にして専門農家が本格的に使用している。家庭菜園用に住民にも安く分けているが、人気があり、足りな

くいとのことである。生ごみの収集には、いも、大豆、トウモロコシなどを材料としたグリー



パークと呼ばれる伐採した樹木の樹皮を粉碎したもの。堆肥の水分調整材として使用される。

ンプラという生ごみ袋を使用している。せっかく作った堆肥の中に異物が混じらないように、微生物の働きで分解して堆肥と同化するようにつくられている。

場のボイラー燃料として売却している。生ごみを入れていないので乾燥コストが安くすむとのことであった。

住民に細かく分別してもらい、地域に還元することで、リサイクル率99%を目指した先進的な取り組みを研修させていた。

プルサーマル計画、地元同意の経緯を視察 北海道電力泊原子力発電所

北海道電力のプルサーマル計画の導入、経緯について研修するため泊原子力発電所を視察した。

平成20年4月に北海道電力から安全協定に基づく事前協議の申し入れを受けた北海道と地元4町村は、同年5月、有識者検討会議を設置した。安全性確保の観点から科学的かつ専門的に検討を行い、その結果を取りまとめ、知事および地元4町村長に提言を行うもので、同年12月まで計9回開催された。

その間、地元住民、各種団体を対象に説明会の開催、地元および札幌市で、プルサーマル計画に関するご意見を伺う会やシンポジウムを開催して、21年3月には北海道と地元4町村から事前了解を取得。同月、泊原発3号機のプルサーマル計画の許可を経済産業相に申請した。

また、本年3月にプル



プルサーマル計画の経緯について研修する議員ら。

サーマルで使用するMOX燃料の加工に関する契約を三菱原子燃料株と締結している。

使用済燃料の中には、新たに生まれたプルトリウムや、まだ利用できるウランが約95%残っており、再処理することで再び燃料として活用できる。世界のエネルギー消費量はさらに増大すると考え

られ、限りあるエネルギー資源をどう利用していくかは、今後の大きな課題となっている。

視察研修後の6月28日に、北陸電力(株)から町に対してプルサーマル計画の申し入れがあったが、今回の視察で研修したことを参考に、議会として十分に協議していきたいと思う。

第21回 志賀町を描く美術展 北國新聞社賞 の作者に聞く！

芸術文化の振興を願い、志賀町の美しい自然や生活、産業や夢などを描いていただく公募展を毎年開催しています。
 昨年の11月には第21回の審査が行われ、次の方が、北國新聞社賞に選ばれましたので、作者の感想を交え、ご紹介させていただきます。



國沢 貞男 さん
 (金沢市)

西山インターを降りて、しばらく行くと右手奥に私の描いた柿島の丘



作品名「五月の柿島」

があります。
 柔らかな5月の陽光の下に広がる丘の緑の美しさに私は深く感動し、それを絵に表現したつもりです。

そのことを審査員の先生方に理解していただけたことを本当にありがとうございました。くうれしく思います。

TOPIC'S トピックス

志賀中男子陸上部

県体で男子総合初優勝

6月26、27日に開催された県中学校陸上競技大会で志賀中学校男子陸上部が男子総合で初優勝を飾りました。

8月開催の北信越大会に出場する4人に、今後の抱負を聞きました。

山本 圭悟君
 (110H優勝)

北信越は入賞を目指します。通信陸上で標準記録の15秒24を出して全中に行きたい。

稲岡 準也君
 (走高跳2位)

北信越では8位内の入賞が目標です。自己ベストを出したい。

泉 明宏君
 (400m優勝)

北信越大会では3位内入賞を目指します。通信陸上では、400mで標準記録の突破、4x100mリレーで1位になって全中に行きたい。

柳川龍之介君
 (砲丸投げ2位)

北信越大会では自己ベストを出して入賞を目指します。



写真右から山本圭悟君、稲岡準也君、泉 明宏君、柳川龍之介君。いずれも3年生。

傍聴におこしください

議会傍聴は、議会だよりでは伝えきれない議会の様子を見聞きできます。傍聴の際は、議会事務局で住所・氏名などを記入します。団体で希望される場合は事務局までご連絡ください。



議会広報特別委員会

発行責任者	議長	戸坂忠寸計
議長	委員 長	田中 正文
副委員長	委員 長	富澤 軒康
委員	委員	橋 照茂
		下池外巳造
		越後 敏明
		櫻井 俊一